

平賀源内

特別編

日時 平成29年12月4日(月) 午後2時~4時30分(予定)

場所 山陽新聞社さん太ホール (岡山市北区柳町) **入場無料**

エレキテル・マン

江戸の



基調講演
福田 安典

江戸の
エレキテル・マン
平賀源内



講演
土井 康弘

本草学から
世界を見た男
源内



講演
松岡 明子

博物図譜の
世界から見る
源内



エレキテル (静電気発生装置)
郵政博物館蔵



量定器 (万歩計)
鎌田共済会 郷土博物館蔵

高松藩の足輕の三男に生まれた平賀源内 (1728~1779)。24歳の時に長崎に留学。28歳で江戸に出て本格的に植物を主にした漢方医学の本草学を学ぶ。全国の特産品を集めた日本初の博覧会を開催。これを元に図の豊富な本草学書「物類品隲」を刊行し世の注目を集める。その後、蘭学を学ぶかたわら、自由を求めて高松藩を脱藩。自ら「天竺浪人」と名乗り、秋田秩父での鉱山開発、木炭の運送事業、羊を飼っての毛織物生産、輸出用の陶器製作、珍石・奇石のブローカーなど、様々な事業を手掛ける。また静電気発生装置「エレキテル」や「燃えない布・火浣布 (石棉)」、万歩計、磁針器など多数の発明品を生んだ。

一方、画才、文才も発揮。油絵を習得して日本初の洋風画「西洋婦人図」を描き、また浮世絵では版画革命ともいべき多色刷りの技法を考案。色とりどりのカラフルな浮世絵を誕生させた祖でもある。

シンポジウムでは、3人の研究者を招き、好奇心旺盛な源内のマルチぶりを、その生涯と功績とともに紹介し、どこからアイデアが生まれてきたのか、その謎、遊び心の極みにも迫る。



源内焼自動噴水器
トヨタコレクション



平賀源内「西洋婦人図」
神戸市立博物館蔵

出演者
プロフィール

福田安典 (ふくだ やすのり)

大阪市生まれ。博士 (文学・大阪大学)。日本女子大学文学部教授。専門は平賀源内を中心とした日本近世文学。大阪大学、同大学院を修了後に甲子園短期大学、愛媛大学を経て現職。最近古医学書を扱った文学研究を提唱している。主な著書に、『平賀源内の研究 大坂編一源内と上方学界』、『医学書の中の「文学」』など。『平賀源内の研究』で2016年度医譚賞受賞。

土井康弘 (どい やすひろ)

富山県生まれ。博士 (学術)。専門は、科学技術史、対外交流史。東京学芸大学大学院修士課程修了、法政大学大学院博士課程単位取得退学。現在、日本大学商学部などの非常勤講師。平賀源内の本草学的研究に関して、伊豆での「芒消 (硫酸ナトリウム)」製造関係文書、燃えない布「火浣布」に使った原料の産地などを発見。主な著書に、『日本初の理学博士 伊藤圭介の研究』、『本草学者 平賀源内』など。

松岡明子 (まつおか あきこ)

福岡市生まれ。香川県立ミュージアム前学芸員。専門は近世絵画史。九州大学文学部美学美術史科を卒業後、香川県立ミュージアム学芸員として松平家伝来博物図譜の調査・研究を行う。現在は香川県文化振興課で世界遺産事業を担当。主な論文に「高松松平家博物図譜の成立 - 18世紀博物図譜の模索 -」「高松松平家伝来博物図譜と平賀源内」など。

ご希望の方には「優待席」をご用意します。
この用紙のままFaxでお申し込みください。 **11月10日(金) 締切**

お名前 (企業名) _____
〒 _____
ご住所 _____
申込人数 _____ ※ 2名までとさせていただきます。
ご連絡先 (電話など) _____
fax 086-225-5046
優待席お申込は、ハガキ、e-mailでも受け付けます。
◆ e-mail nichiran@rsk.co.jp
◆ ハガキ宛先 〒700-8580 山陽放送内(公財)山陽放送学術文化財団
◆ 申し込みは1枚(1回)につき2人迄となります。(複数応募不可)
希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。
「優待席のご案内」はハガキでお知らせします。

絶賛発売中!
「岡山蘭学の群像1・2」
1400円+税 **A5判**
先人のあくなき探究心と、歴史のダイナミズムがここに!

最寄りの書店でお求めください。

お問い合わせは 公益財団法人 山陽放送学術文化財団《tel 086-225-5531》